

持続する地域社会創りと新たな発展指標の開発

草 郷 孝 好

関西大学 社会学部 教授

2017年6月22日

第79回岩手県総合計画審議会

専門分野と主な研究活動

- 専門分野：開発学
- 研究テーマ
『より善い生き方を育む持続的社會創りの理論と実践』
- 実践的研究（アクション・リサーチ）の展開
 - 市民目線の生活実感調査や社会発展指標の構築
 - 市民主導の地域創り手法の展開と地域コミュニティ創り支援
→ 福井、新潟、兵庫、愛知、ブータン、ネパールなど

講演の流れ

- 私たちが直面する課題と国際社会の動き
- 社会発展モデルの見直しとウェルビーイング指標
- 持続的地域社会の創造と地域発展指標の取り組み
 - 兵庫県の21世紀兵庫長期ビジョンとゆたかさ指標
 - 長久手市のながくて幸せのモノサシづくり

3

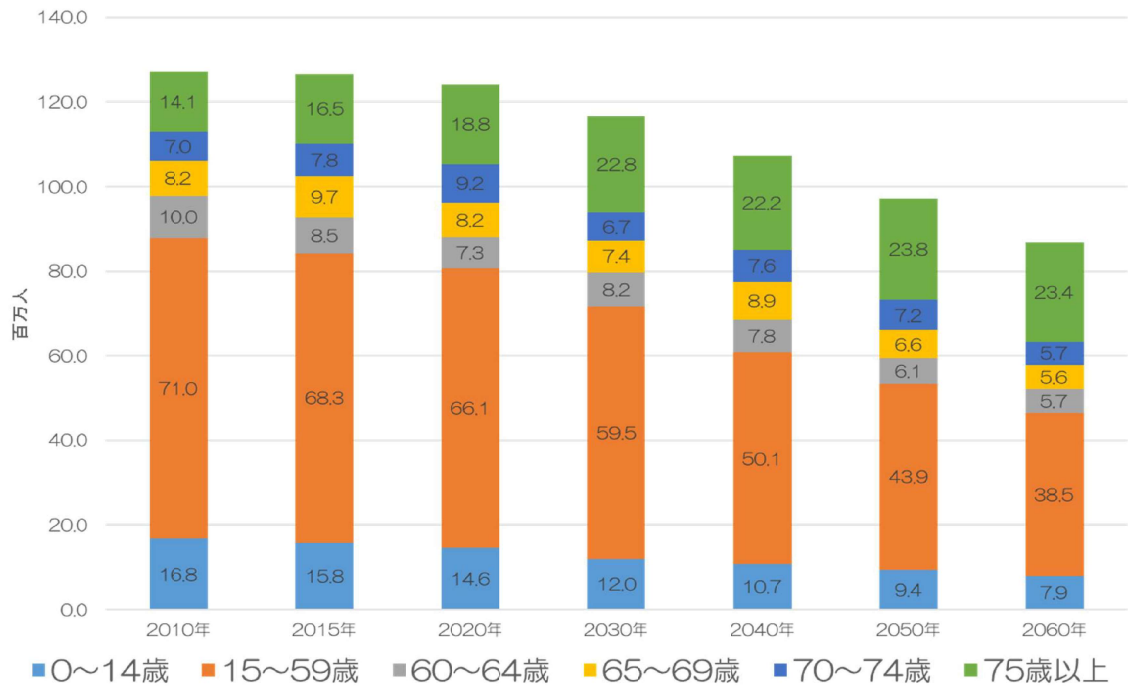
私たちが向き合う課題

- 少子高齢化と地域間の人口の偏り

4

人口減少が予測されている

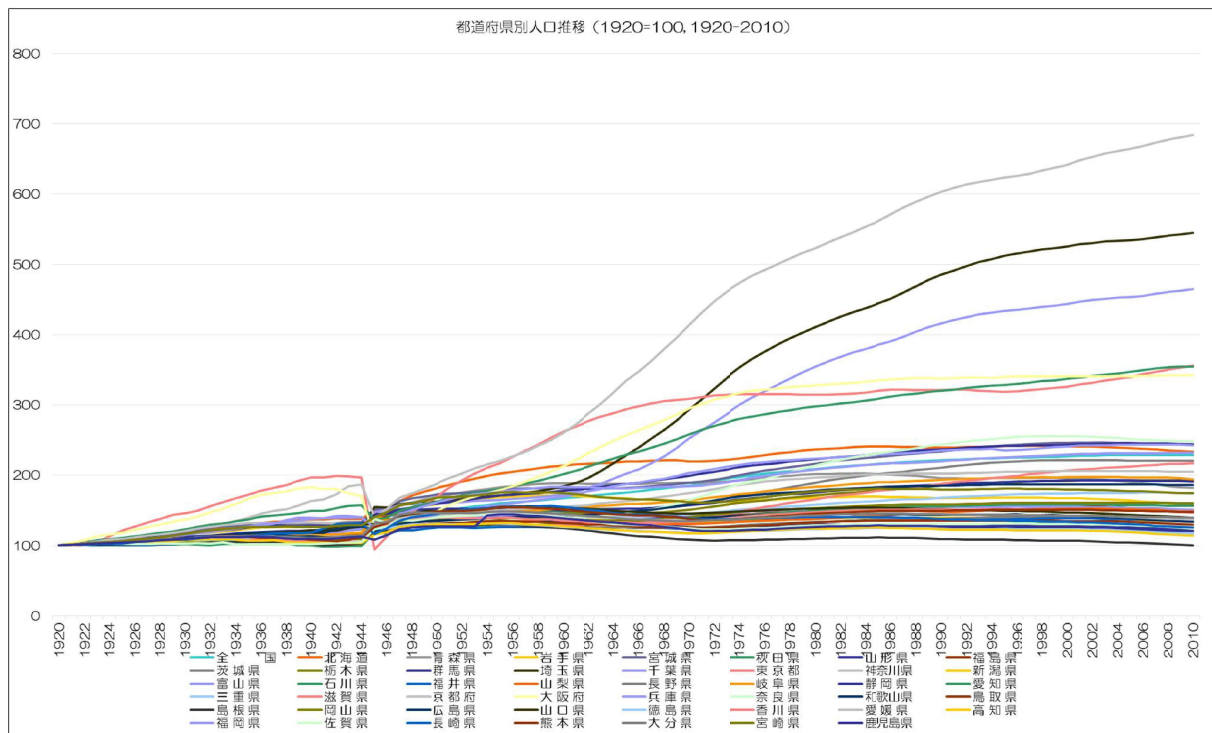
年齢区分別将来人口推計（2010-2060）



5

データ：2010年までは総務省「国勢調査」、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果
 (注) 1950年~2010年の総数は年齢不詳を含む

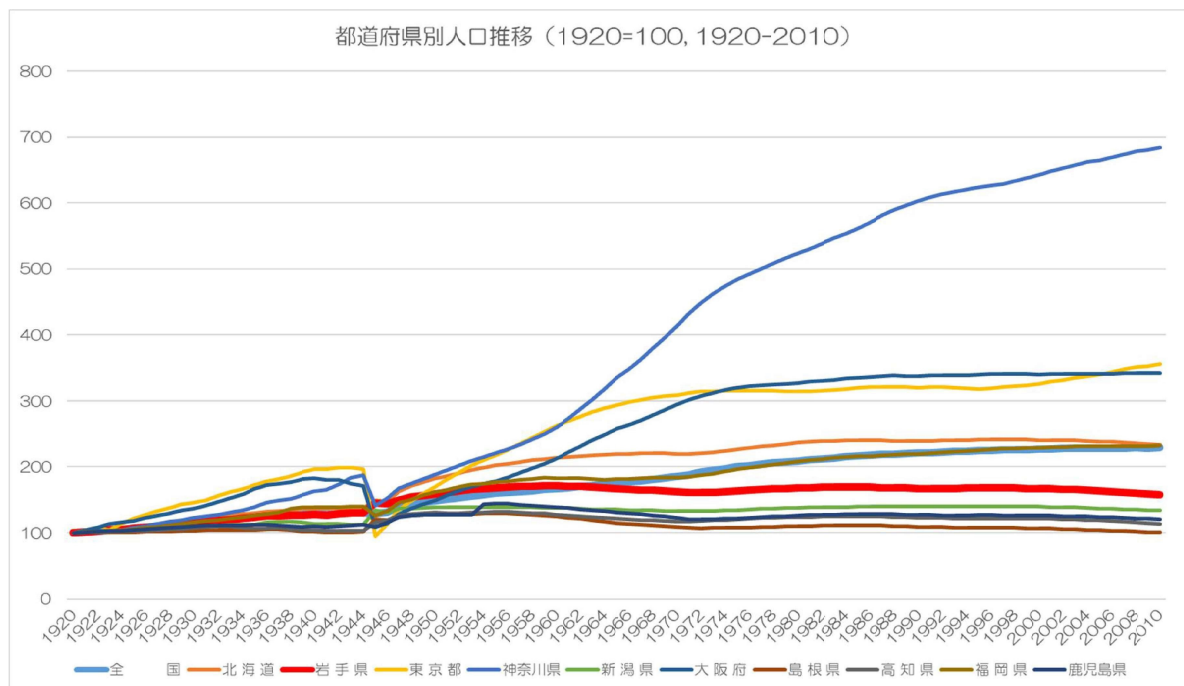
人口は地域間で偏りが激しい



6

データ：総務省「国勢調査」1920年より2010年まで

人口は地域間で偏りが激しい



7

データ：総務省「国勢調査」1920年より2010年まで

私たちが向き合う課題

- 少子高齢化と地域間の人口の偏り
- 持続可能な開発を目指す国際社会の動き
 - 国連によるSDGs（持続可能な開発目標）策定
 - ➔ 環境と経済の対立から調和への社会経済システム変更

8

SDGs

- SDGs（持続可能な開発目標）→ 17分野にわたる開発目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



9

私たちが向き合う課題

- 少子高齢化と地域間の人口の偏り
- 持続可能な開発を目指す国際社会の動き
 - 国連によるSDGs（持続可能な開発目標）策定
 - 環境と経済の対立から調和への社会経済システム変更



人口減少と地域偏在化が進む中、持続する地域社会を創っていくというチャレンジ

10

講演の流れ

- 私たちが直面する課題と国際社会の動き
- **社会発展モデルの見直しとウェルビーイング指標**
- 持続的地域社会の創造と地域発展指標の取り組み
 - 兵庫県の21世紀兵庫長期ビジョンとゆたかさ指標
 - 長久手市のながくて幸せのモノサシづくり

11

生活の基層 従来の近代化開発モデルの考え方

戦略

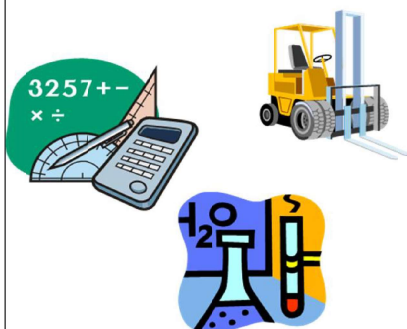
産業化による
経済開発・成長戦略

指標

GDP指標
(経済指標)

目標

生活水準を高め
豊かさを享受



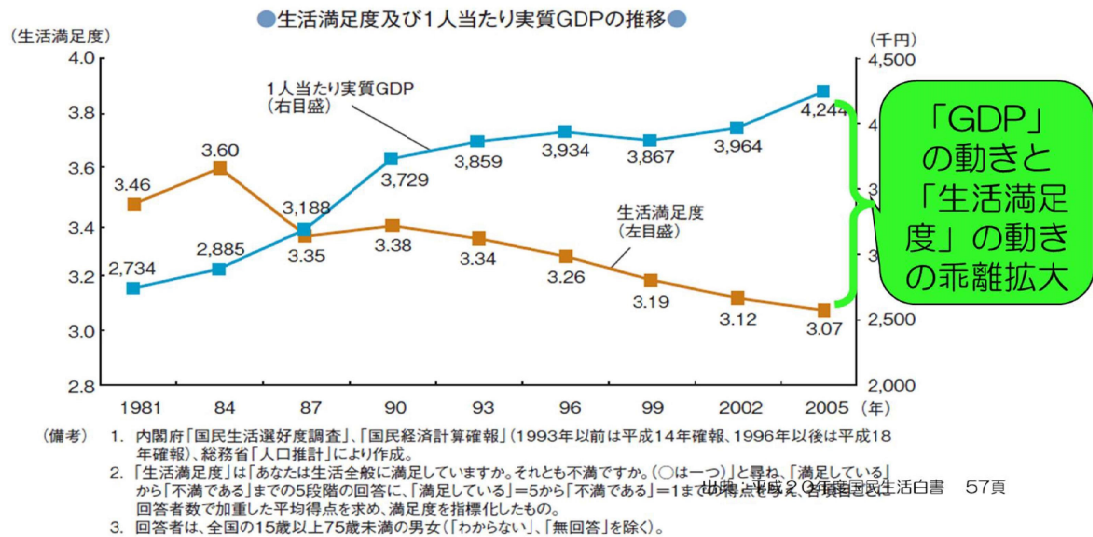
経済成長 → 生活改善 → 幸福度アップ

12

“従来型開発モデルは万能” にあらず

- 「経済成長しても生活満足度に必ずしもつながっていない」という現象が起きている【イースタリンパラドクス】

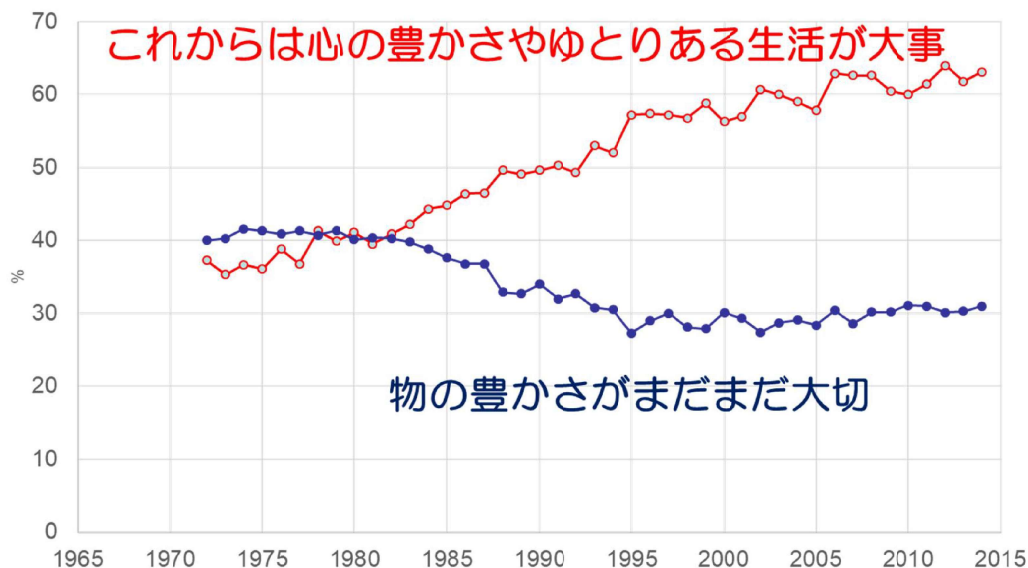
第1-3-1図 生活満足度は上昇していない



13

市民の声「生活の上で大切にしたいのは・・・」

- 6割以上が、モノの豊かさよりもこころの豊かさやゆとりある生活を重視したい



14

(内閣府 国民生活に関する世論調査各年から作成)

「何が幸せや豊かさをもたらす」のか、 開発学の重要課題

- お金が増えれば、自分の生活はよくなるといえるのか。幸せって何だろう、と感じている人が確実に増えている
- 多分野の研究者の手で「幸福」の要素や幸福の影響などを突きつめていく研究の増加
- 開発学では、貧困削減一辺倒から、持続的開発と包括的な豊かさ（ウェルビーイング）への着目

15

→ 経済成長の量的拡大 → 社会の質の向上重視

社会の質が個人のウェルビーイングに影響

• 潜在能力アプローチの知見

- アマルティア・セン
 - 経済的合理性への批判とウェルビーイングや人間開発（基礎生計、教育、医療）の重要性
アマルティア・セン（1999）「不平等の再検討—潜在能力と自由」岩波書店
- マーサ・ヌスバウム
 - 個人のよい生き方には、社会のあり方がカギ（3つの潜在能力）
マーサ・ヌスバウム（2005）「女性と人間開発 潜在能力アプローチ」岩波書店

• 内発的発展アプローチの視座

- 鶴見和子の内発的発展論
 - 社会の構成メンバー自身が主体的に社会発展を担う社会発展プロセス
鶴見和子（1996）「内発的発展論の展開」筑摩書房

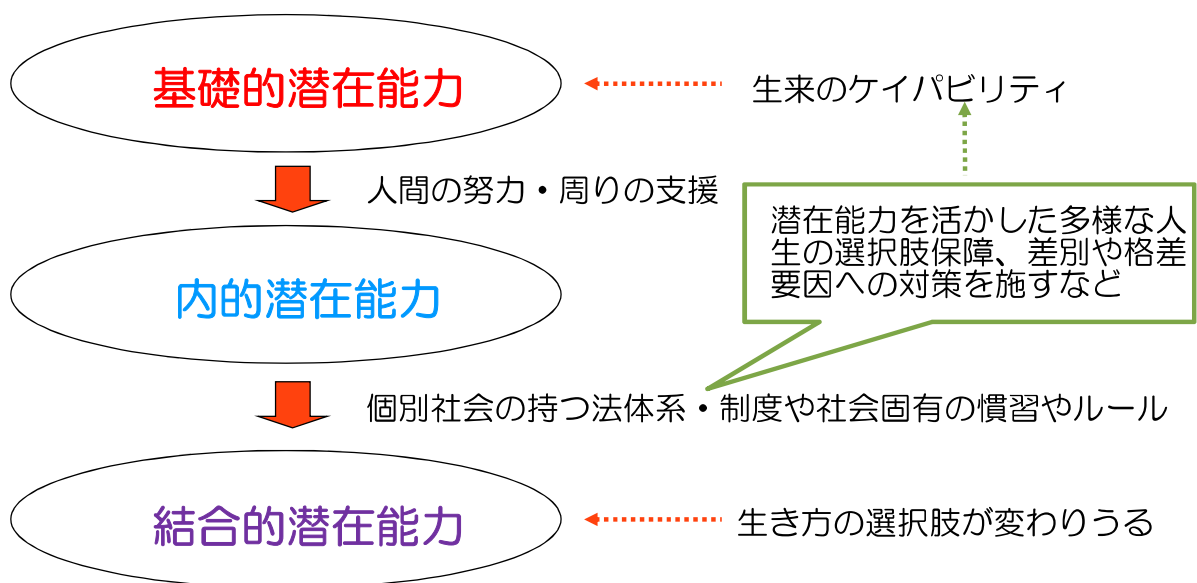
16

潜在能力の3つのタイプ（ヌスバウム）

- 基礎的潜在能力
 - 人が持って生まれた生来の素質。声を発する、目で見ると、耳で聞く等
- 内的された潜在能力
 - 基礎的潜在能力を磨いていくことで、さまざまな能力を身につけ、その能力を活用することで生き方の選択肢を広げていくことができる。言葉を話す、文章にまとめる、感情を表現する、政治参加できる等々。家庭、学校などからの支援が必要
- 潜在能力の結合的発現
 - 内的潜在能力によって、個々に望ましい活動選択を行うためには、生活する社会環境の状態との組み合わせによって、その選択肢の幅も実現可能性も変わる。社会のあり方を規定する法制度、慣習、などに注力する必要がある。

17

社会の質が個人のウェルビーイングに影響



18

個人の生活の豊かさと社会のあり方には、密接な関係
両者を統合して考えていくことが重要

社会の質が個人のウェルビーイングに影響

● 潜在能力アプローチの知見

● アマルティア・セン

- 経済的合理性への批判とウェルビーイングや人間開発（基礎生計、教育、医療）の重要性

アマルティア・セン（1999）「不平等の再検討—潜在能力と自由」岩波書店

● マーサ・ヌスバウム

- 個人のよい生き方には、社会のあり方がカギ（3つの潜在能力）

マーサ・ヌスバウム（2005）「女性と人間開発 潜在能力アプローチ」岩波書店

● 内発的発展アプローチの視座

● 鶴見和子の内発的発展論

- 社会の構成メンバー自身が主体的に社会発展を担う社会発展プロセス

鶴見和子（1996）「内発的発展論の展開」筑摩書房

19

開発モデル・政策と実践的ツール

開発モデルと開発政策の構築

《国家（地域）開発計画の策定、経済政策
社会政策、政治制度など》



実践的ツールの開発

《社会発展を測る指標や成果の評価方法》

20

主たる開発指標の変遷

- 経済開発指標（1950年代以降）
 - 経済成長の測定 → GDP(国内総生産)
 - 公正な経済分配状況の測定 → ジニ係数(Gini- Coefficients)
 - 貧困層の把握のための分類 → 貧困線(Poverty Line)
- 社会開発指標（1970年代以降）
 - 社会セクター(教育、保健衛生、居住など)指標
 - 複合指標(PQLI (Physical Quality of Life Index))
- 人間開発指標（1990年代以降）
 - 人間開発指数：Human Development Index
 - 生計： A decent standard of living
 - 教育： Knowledge
 - 保健衛生： A long and healthy life
 - エンパワメント指数、など
- 持続的開発指標（2000年代以降）
 - MDG（ミレニアム開発指標）、SDG（持続的開発指標）
 - BLI（より良い暮らし指標）、GNH（国民総幸福）

21

ウェルビーイングを捉える持続的社会发展指標

- 個人のウェルビーイングの向上に欠かせない要素の中には、経済、社会、文化、環境、政治など多面的
- 基本的な生活充足の状態、多様な生き方の選択の可能性、生活環境の状態など、個人と社会の両面から、ウェルビーイングを左右する要素を捉えていく必要



経済中心でウェルビーイングを捉え論じる視座から生活当事者の視点と社会基盤の在り方の視点を組み合わせて捉える視座へシフト、GDPに代わる指標構築

国際社会におけるさまざまな指標開発の試み

人間開発指数 (HDI)
真の進歩指標 (GPI)

国民総幸福 (GNH)
よりよい暮らし指標 (BLI)

地域に根差した豊かさ指標の開発と活用二一ス

22

講演の流れ

- 私たちが直面する課題と国際社会の動き
- 社会発展モデルの見直しとウェルビーイング指標
- 持続的地域社会の創造と地域発展指標の取り組み
 - 兵庫県の21世紀兵庫長期ビジョンとゆたかさ指標
 - 長久手市のながくて幸せのモノサシづくり

人々の幸福につながる持続的地域社会の創造

- 実践ツールとしての指標開発
 - 幸福を左右する要素を重視～多次元な要素
 - 地域社会の当事者主導と協働～住民、行政
- 国内の事例に学ぶ
 - 兵庫県の21世紀兵庫長期ビジョンとゆたかさ指標
 - 長久手市のながくて幸せのモノサシづくり

21世紀兵庫長期ビジョンとは・・・

2040年を展望する“羅針盤”（目標）

～行政（お役所）が“上から目線”で押しつける時代は終わった～

どうやって実現するの？ = 「参画と協働」

（一緒にやりましょう）

→ 「新しい公」の展開

- ・まちづくり、福祉、環境などの社会的課題を、「官」だけでなく、住民・企業など社会の構成員全体で担う考え方
- ・1995年、阪神・淡路大震災を契機に、「新しい公」の担い手として、ボランティア、NPOが日本に普及

25

21世紀兵庫長期ビジョンとは・・・

4つの「なっしてほしい」 = 「社会像」

創造的市民社会

- ・人のつながりで安心な社会
- ・「超」高齢化社会への備えができていく社会
- ・健康に暮らせる社会

しごとと活性社会

- ・世界と競える先端技術が進む社会
- ・「地域資源」がまちの活力になる社会
- ・若者、女性、高齢者の雇用が進む社会

21世紀兵庫長期
ビジョンで描く
「4つの社会像」

- ・自然環境と共生する社会
- ・再生可能エネルギーの活用が進む社会
- ・自然災害への備えができていく社会

環境優先社会

- ・地域と地域の交流が進む社会
- ・住民主役の地域運営が実現する社会
- ・世界に開かれた多文化共生の社会

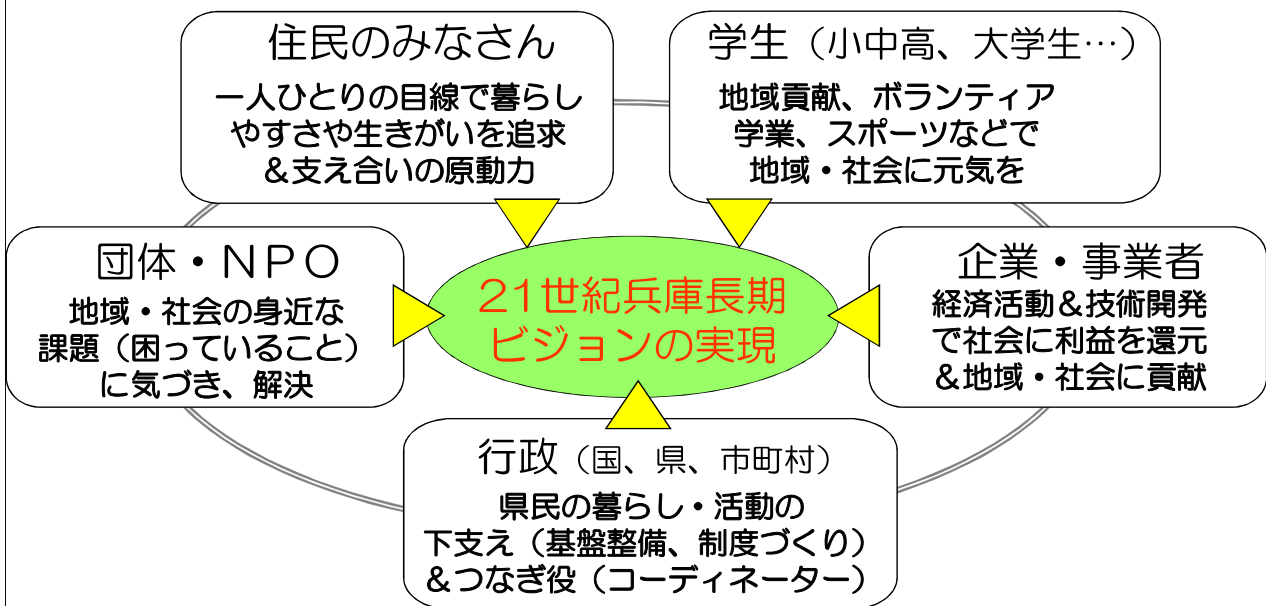
多彩な交流社会

26

兵庫県の目指す社会「12の将来像」

ビジョンで掲げる 社会像	今回の見直しで新たに描いた 将来像（実現したい兵庫の姿）
創造的市民社会 	1 人と人のつながりで自立と安心を育む
	2 兵庫らしい健康で充実した 生涯を送れる社会を実現する
	3 次代を支え挑戦する人を創る
しごとと活性社会 	4 未来を拓く産業の力を高める
	5 地域と共に持続する産業を育む
	6 生きがいにあふれたしごとを創る
環境優先社会 	7 人と自然が共生する地域を創る
	8 低炭素で資源を生かす先進地を創る
	9 災害に強い安全安心な基盤を整える
多彩な交流社会 	10 地域の交流・持続を支える基盤を整える
	11 個性を生かした地域の自立と 地域間連携で元気を生み出す
	12 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ

21世紀兵庫長期ビジョンにおける参画と協働



ビジョンのツールである3つの指標と役割

全県ビジョン指標

■行政(県)、住民、団体など様々な主体の取り組みの点検・評価

兵庫の豊かさ指標

- 県民意識調査の結果から、県民一人ひとりの「豊かさ感」を捉える指標
- 総合点を算出し、県民の総体的な「豊かさ感」を把握

分析・補完

全県ビジョンフォローアップ指標

- 行政、住民、団体など様々な主体による個々の取組の成果を定量的に測る指標
- 5つの行動目標のもと前期5年間でめざす数値目標を設定

連携・共有

地域（県民局単位）ビジョン指標

■個性豊かな地域ビジョンの実現状況を点検・評価する指標

- ・各地域ビジョンの達成度を測るフォローアップ指標
- ・地域ならではの魅力や活動成果を共有（地域資源数え上げなど）

兵庫のゆたかさ指標

- 「兵庫県民の生活の豊かさを点数化」した指標
- 21世紀兵庫長期ビジョンの12の将来像を用いて、兵庫のゆたかさの尺度とみなす
- 県民意識調査のデータを基に、兵庫のゆたかさを総合評価と将来像ごとの評価によって確認できる指標開発

兵庫のゆたかさ指標

- 指標の基本的な考え方
 - ビジョンに連動した県民意識調査に基づいて、主観指標による統合指標化
 - 県民意識調査の質問項目は「12の将来像」と住民自身の生活や地域に関する「包括的な生活や地域の評価」合計55項目の質問
 - 回収されたデータを5段階（1.そう思う～5.そう思わないの5段階）で点数化し、総合点に換算
 - 「12の将来像」ごとの平均点数を各10点満点に換算し、その合計から総合点（120点満点）を算出
 - 住民とのコミュニケーションツールとするため、なるべくシンプルな計算方法を採用

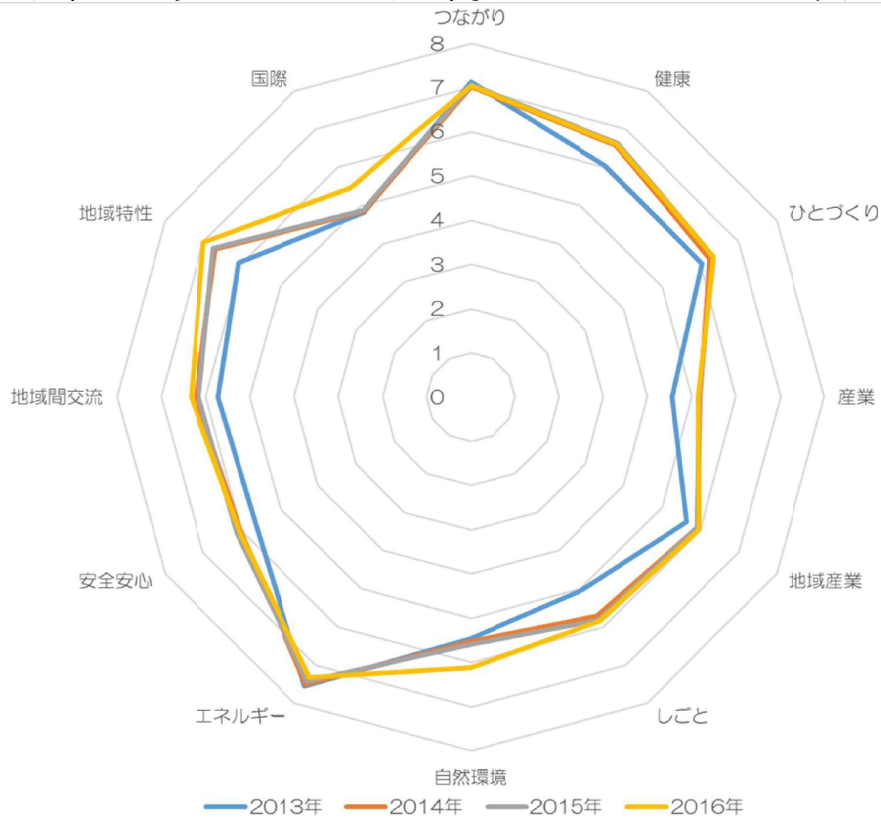
31

2016年度「兵庫の豊かさ指標」スコア

兵庫の豊かさ指標	4つの社会像		12の将来像		点数 (10点満点)
	創造的 市民社会	しごと 活性社会	環境 優先社会	多彩な 交流社会	
総合点 75.2 点 (120点満点) 平均点 6.2 点 (10点満点)	1	人と人のつながりで自立と安心を育む			7.04
	2	兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する			6.61
	3	次代を支え挑戦する人を創る			6.34
	4	未来を拓く産業の力を高める			5.14
	5	地域と共に持続する産業を育む			5.97
	6	生きがいにあふれたしごとを創る			5.85
	7	人と自然が共生する地域を創る			6.11
	8	低炭素で資源を生かす先進地を創る			7.32
	9	災害に強い安全安心な基盤を整える			6.06
	10	地域の交流・持続を支える基盤を整える			6.33
	11	個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す			6.99
	12	世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ			5.47

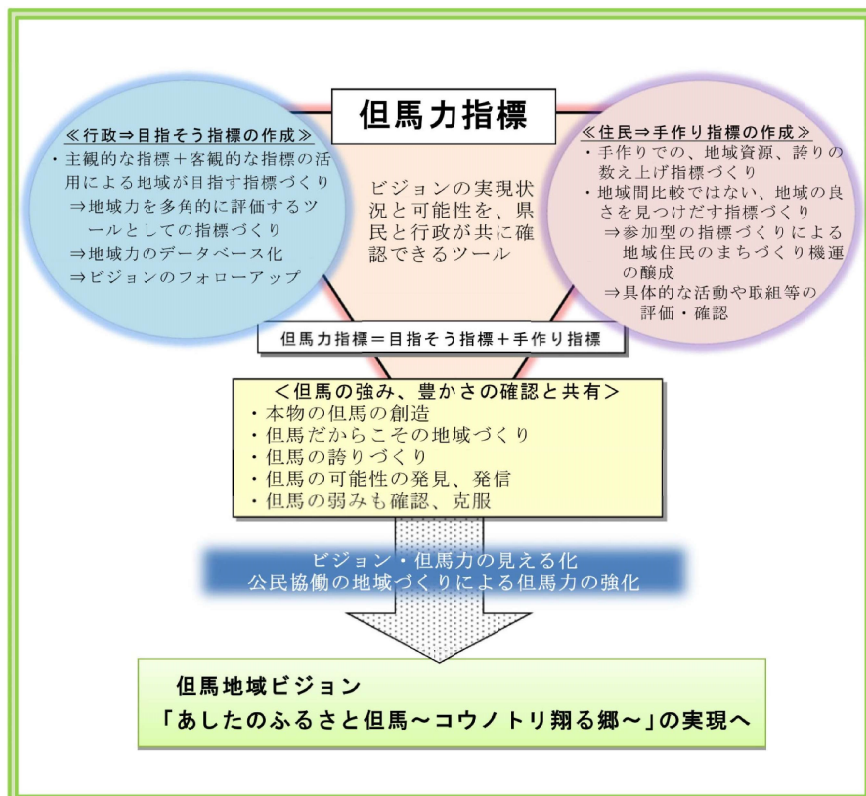
32

兵庫のゆたかさ指標スコアの経年変化



県民局の指標づくり（但馬県民局）

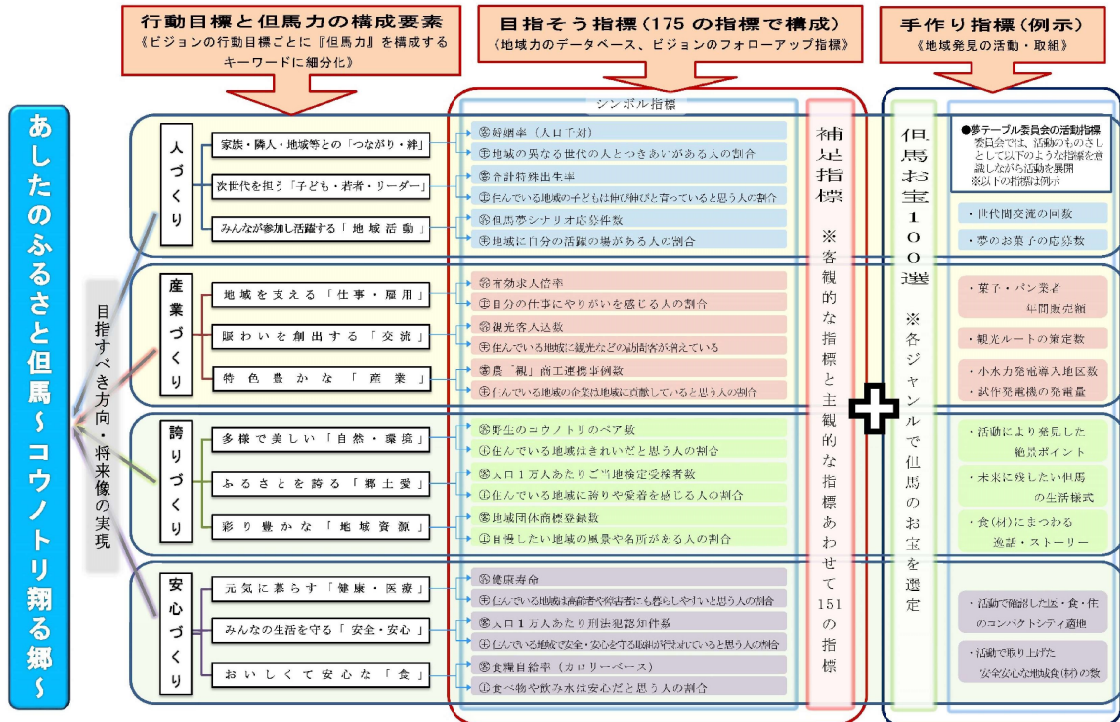
《但馬力は「但馬地域の総合力」》



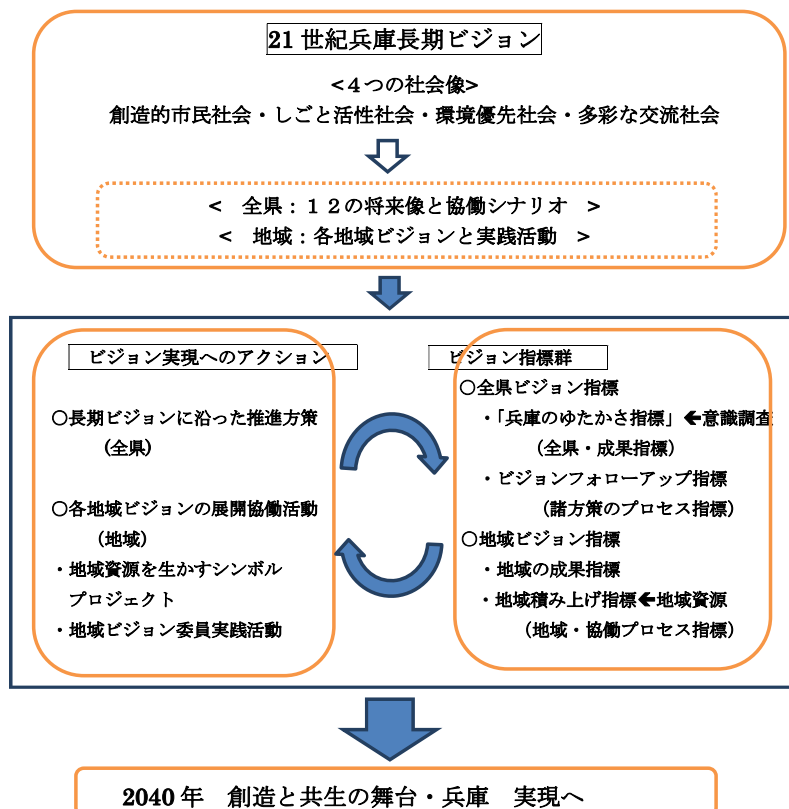
県民局の指標づくり（但馬県民局）

但馬力指標の全体構成

但馬力指標＝目指そう指標＋手作り指標



21世紀兵庫長期ビジョンのしくみ



愛知県長久手市

- 人口 : 56,967人 (2017年6月1日現在)
→増加する人口、15歳未満 18.4% 65歳以上16%
- 世帯数 : 23,143 (2017年6月1日現在)
- 面積 : 21.54 km²
- 住みよさランキング2016 (東洋経済)
 - 全国で第2位
 - 雇用確保、利便性、文化施設充実など



37

ながくて幸せのモノサシづくり 〈行政主導から市民協働のまちづくりのしくみ〉

- 日本一の福祉のまち＝幸福度の高いまちの実現目標 (2050年のビジョン)
- 市民と行政の協働活動によって、地方自治体行政の新しいカタチを目指す
- 地域独自の発展のモノサシによって、市民の生活や地域社会の状況を多面的に評価し、地域や市民の暮らしの改善に継続的に取り組む

38

長久手の幸せ日本一の取り組み

将来ビジョン (2050)

生活の質と幸福感の高い持続的なまちを住民主導でつくる

制度・組織
環境



住民

幸福度の高いまちづくり
幸せのモノサシ

住民がお客さんにならないまち
お互いに支え合うのが当たり前

39

「今のながくての生活と幸せを測ろう！」 ながくて幸せ実感調査隊

- ★市民生活と地域の状況を確認する「ながくて幸せ実感アンケート」の調査票づくり目的に結成
 - ・分析、調査活用提案、報告書作成に参画！
- ★メンバー：有志の市民11人と若手職員10人の21人
- ★事務局チーム：市経営管理課、（社）地域問題研究所、
関西大学社会学部草郷孝好（アドバイザー）
- ★事務局主導でロジを設計したが、調査隊の意見と合意によりアンケート票を完成、分析、まとめ、市民報告へ

調査隊の活動自体が「新しいまちの形づくり」につながる！

40

ながくて幸せ実感調査隊の活動

回	年月日	内容
第1回	H25.10.28	ワークショップ「将来の望ましい長久手の姿を考えよう！」
市民まつり	H25.11.10	市民インタビュー「ながくて市民の幸せ集め」
第2回	H25.11.25	ワークショップ「幸せ実感アンケートづくりに入ろう！」
第3回	H25.12. 9	ワークショップ「今日もアンケートをつくろう！」
第4回	H25.12.20	討議「質問項目を選ぼう！」
第5回	H26. 1.29	討議「みんなでアンケート票を直そう！」
第6回	H26. 2. 6	討議「今日もみんなでアンケート票を直そう！」
第7回	H26. 2.12	発表「完成したアンケート票を発表して市長に渡そう！」
第8回	H26. 5. 9	ワークショップ「集計結果から見えてくること、分析したいことを考えよう！」
第9回	H26. 7. 4	討議「幸せ実感調査隊の活動を振り返ろう！」
第10回	H26. 8.22	ワークショップ「アンケートの活用方法を考えよう！」

手探りの協働活動～生みの楽しさを実感～

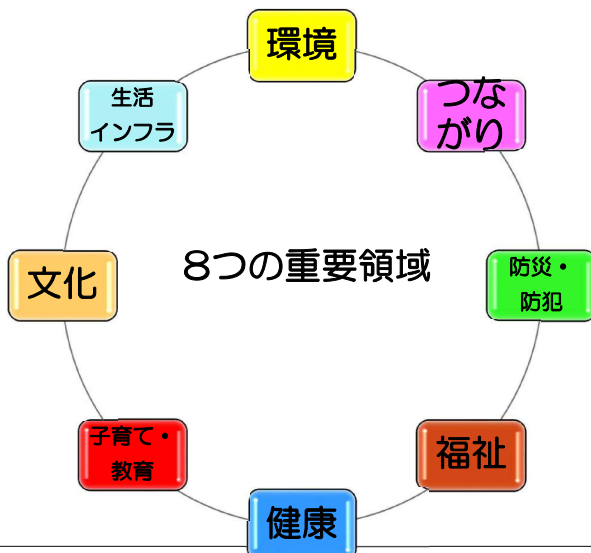


「ながくて幸せ実感調査」に見る協働のプロセス

第1段階

長久手市民のよりよい生活に欠かせない要素を確定

- 幸福研究の知見を参考にして、長久手の市民生活に関わる8重要領域を選定
- 調査隊メンバーにより、領域ごとに、長久手の市民生活を具体化
- 調査隊によるアンケート設問づくり



43

「ながくて幸せ実感調査」に見る協働のプロセス

第2段階

ながくて幸せ実感調査の実施

- アンケート設問票作成～依頼文・体裁（調査隊、市役所）
- アンケート実施（市役所）
- アンケート回収・入力（市役所・地間研）

(1) 体を動かしたり運動したりと健康的な暮らしができていますか。【〇は1つ】

1. そう思う 2. まあそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない

(4) お住まいの地域には、子育てや子どもの教育などについて相談できる人がいる、あるいは、相談できる場所がありますか。【〇は1つ】

1. そう思う 2. まあそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない 6. 該当しない

(4) お住まいの地域であなたは「たつせ」がありますか。【〇は1つ】

※「たつせがある」とは、「立つ瀬がない」の対義語で、「だれもが地域で役割を担い、活躍し、必要とされ、生きがいを持って楽しく過ごすことができる」ことを表した長久手市の造語です。

1. ある 2. まあある 3. どちらともいえない 4. あまりない 5. ない

44

「ながくて幸せ実感調査」に見る協働のプロセス

第3段階

アンケート調査の 分析と発信

- アンケートデータの分析～気づきと探求（調査隊、市役所職員）
- アンケート結果のまとめ（調査隊、市役所、地問研、アドバイザー）
- データの活用と発信～報告書、広報など（調査隊、市役所）

「ながくて幸せ実感調査」に見る協働のプロセス

幸せ実感調査隊かわら版 【Vol. 8】
～「第8回ながくて幸せ実感調査隊ミーティング」を開催～

市が目指す市民一人ひとりの幸福度が高いまちに向けて、『ながくて幸せ実感調査隊』の第8回ミーティングを開催しました（平成26年5月9日）。2月に「ながくて幸せ実感アンケート」を実施し、市民のみなさんからいただいた回答結果から長久手の現在の姿を話し合いました。

第8回のミーティングでは、「ながくて幸せ実感アンケート」で尋ねた分野ごとに、「集計結果から読み取れること」、「もっと分析したいこと」についてみんなで多くの意見を出し合い、分析を行いました。アンケートについては、ミーティングでの意見を基に、引き続き、さらに詳細な分析を行っていきます。

「集計結果から読み取れること」(一例)

- ・幸せを感じている人が多い。（幸せ感）
- ・住み続けたいと思っている人が多い。（幸せ感）
- ・特に30歳代が健康に不安を抱えている。（健康）
- ・家族で子どもとのコミュニケーションがとれているが地域の子どもとのコミュニケーションはあまりない。（子育て）
- ・公園の整備が進んでいる。市の地区は、自然は多いが公園等は少ない。（環境）
- ・つながりが大事だと考えない傾向にある。（つながり）
- ・災害意識（参加も含めて）が低い。（防災・防犯）
- ・福祉に待てる身体者は多い。（福祉）
- ・地域に自慢するべき「宝」がない。（文化・生涯学習）
- ・生活インフラは充実していると感じる人が多い。（生活インフラ）

「もっと分析したいこと」(一例)

- ・分野別結果に相関関係があるか分析したい。（全体）
- ・年齢別性別、世帯別、性別、収入別、職業別などとの集計結果を分析したい。（全体）
- ・同じくつながりや関係性について調査していないのはなぜか。（つながり）
- ・福祉の充実度が低い理由は何だろうか。（福祉）
- ・長久手にとっての「宝」とは。（文化・生涯学習）
- ・単に使う人と公共交流を使う人に幸せ感の違いはあるか。（生活インフラ）

【第9回ミーティング（予定）について】

45

ながくて幸せ実感調査の実際

- ・ 18歳以上の市民5,000人を対象に、平成26年2月28日～3月24日に実施
- ・ 有効回答数 1,871（有効回答率37.4%）
- ・ 集計から見える主な傾向（最終報告書）

	主な傾向
1	長久手市民の幸福度は高い（市：7.41 国：6.41）
2	長久手市民の幸福度は健康、年収、家族の存在などが大きく影響。特に30歳代の幸福度は高く、子どもの存在が大きいと思われる
3	地域とのつながりへの意識は高くなく、困ったときの相談相手は市外に多いが、地域活動に積極的な人は幸福度が高い
4	一般単身世帯の幸福度は低い（高齢単身世帯はそれほど低くない）
5	居住年数が長いほど幸福度は低くなる

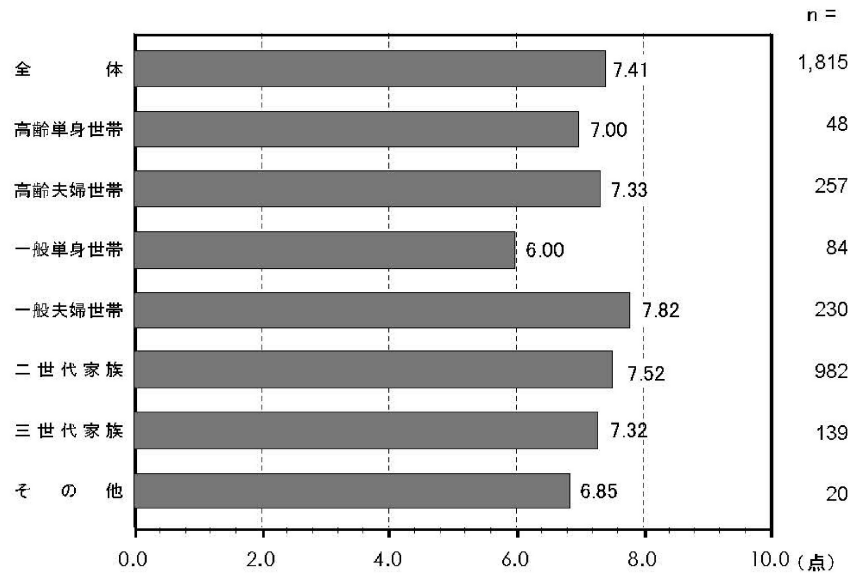
46

最終報告書の中の分析

家族の形態別

- 家族の形態別でみると、「一般夫婦世帯」(7.82)、「二世世代家族」(7.52)の幸せ感は全体より高く、「一般単身世帯」(6.00)及び「高齢単身者」(7.00)の幸せ感は全体よりも低くなっています。
- 家族の存在が幸せ感の重要な要素の一つであると考えられます(図2-1-9)。

図2-1-9 家族の形態別「幸せ感の点数」



最終報告書の中の分析

(2) 大事だと思う分野 (問2)

問2 次の8つの分野の中からあなたにとって「特に大事だと思う分野」を3つまで選んでその番号を回答欄に記入してください。なお、「特に大事だと思う分野はない」という場合には、左端の欄に「9」を記入してください。

要点

大事だと思う分野は、「健康」が74.7%と多くなっていますが、「文化・生涯学習」(7.5%)が少なくなっています。

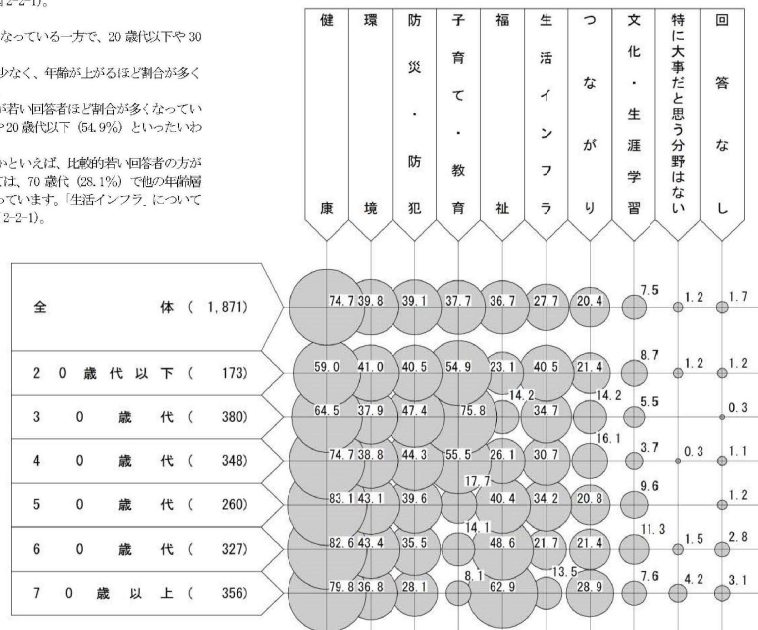
全体

- 大事だと思う分野は、「健康」が74.7%と多くなっています。
- 一方、「文化・生涯学習」(7.5%)が少なくなっています(図2-2-1)。

年齢別

- 年齢別にみると、「健康」は40歳以上の年齢層で若干多くなっている一方で、20歳代以下や30歳代といった若年齢層における割合が少なくなっています。
- 「福祉」や「つながり」についてもほぼ同様に、若年齢層で少なく、年齢が上がるほど割合が多くなる傾向がみられ、特に70歳代では62.9%となっています。
- 上記の2項目に対して、「子育て・教育」については、年齢が若い回答者ほど割合が多くなっています。特に30歳代(75.8%)をはじめ、40歳代(55.5%)や20歳代以下(54.9%)といったいわゆる子育て世代において割合が多くなっています。
- また、「防災・防犯」と「生活インフラ」についてもどちらかといえば、比較的若い回答者の方が大事だと思う割合が多くなっており、「防災・防犯」については、70歳代(28.1%)で他の年齢層に比べて少ないのに対して、30歳代や40歳代で若干多くなっています。「生活インフラ」については、20歳代以下で大事だと思う割合が多くなっています(図2-2-1)。

図2-2-1 年齢別「大事だと思う分野」



幸せのモノサシ実感調査後の動き

- **幸せ実感広め隊の活動に継続へ**
 - 長久手市のまちづくりのビジョンにふさわしい生き方をしている地元の人やグループに注目し、市民に紹介
 - 幸せマイスター→長久手人（ながくてびと）[長久手未来まちづくりビジョン]の発掘

人・場・時をつなぎ夢をはぐくむ長久手
長久手人こそ私たちの誇り
気長に手をかけ みんなで未来を拓く

- 2回目の幸せ実感調査実施（2016年度）
- 長久手の幸せのモノサシ選定（2017年度）

モノサシづくりから幸せ広め隊の活動

- 幸せのモノサシを持つだけでは、地域住民の意識や行動はなかなか変わっていかない
- 何かの取り組みをする：幸せな地域に欠かせない取り組みを見つけ、紹介していく
- 幸せ広め隊の活動（継続中）



幸せのモノサシ実感調査後の動き

- 幸せ実感広め隊の活動に継続へ
 - 長久手市のまちづくりのビジョンにふさわしい生き方をしている地元の人やグループに注目し、市民に紹介
 - 幸せマイスター→長久手人（ながくてびと）[長久手未来まちづくりビジョン]の発掘

人・場・時をつなぎ夢をはぐくむ長久手
長久手人こそ私たちの誇り
気長に手をかけ みんなで未来を拓く

- 2回目の幸せ実感調査実施（2016年度）
- 長久手の幸せのモノサシ選定（2017年度）

幸せのモノサシ（2017年度策定）

- 総合指標（目標）
「地域で子どもの笑顔を育てるまち」
- 描写指標
 - 日頃から笑顔で生活ができていると感じている
 - 大人も子どもも、地域の行事や活動に参加している
 - 安心して自宅にすることができる
 - 日頃から近所の人にあいさつをする、される習慣がある
 - 自分がこのまちの一員である（役割がある）と感じられる
 - 地域に愛着がある
 - 近所で声をかけ合って、頼り、頼られる関係がある
 - 子どもたちの成長を身近に感じることができる
- 観測データ（5年ごとの市民意識調査）

まとめ ①

- 持続する幸せな地域創造のポイント？
 - 新たな社会発展モデルや社会のビジョンを持つこと
 - ツールとして、地域の暮らしの質を測る指標を持つこと
 - その際、個人と社会の相互関係性に着目すること
 - 市民の動きが地域の変化にどうつながるのかを重視すること
- 先行する地域単位の取り組みに学ぶ
 - ビジョンの推進と評価のために、異なる性格を持つ3つの指標をつくり、活用する
 - 素人である市民と行政の協働によって、地域特有の幸せのモノサシをつくり、市民主導の行政への転換を目指していく

53

まとめ ②

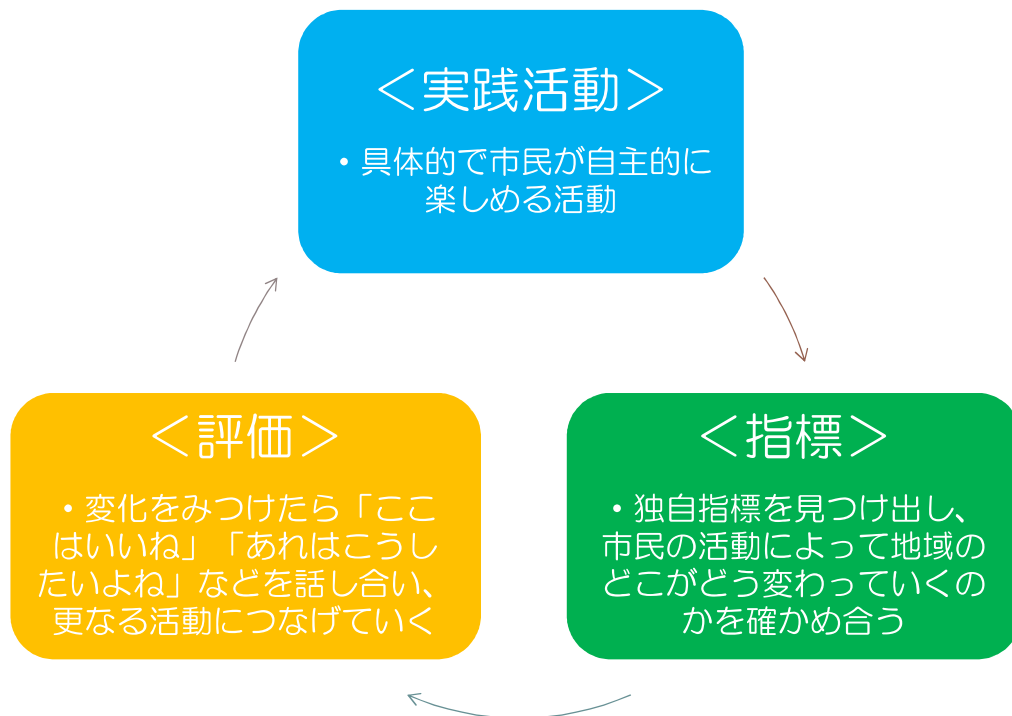
- 指標開発の際に注意すべき点
 - 指標開発の目的（将来ビジョンや発展モデル）は何か
 - 指標の目的にふさわしい指標の作り手は誰なのか
 - 指標の使い手は誰なのか
 - 使い手にアクセスしやすく、活用しやすい指標になっているか



市民の活動と地域指標の連動

54

市民の活動と地域指標の連動



55

ご清聴ありがとうございました

草郷 孝好

tkusago@gmail.com

56